

情報の教養学

5月15日(水) 16:30~18:00

日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペースにて
学部生・大学院生・教職員対象 入場無料

ウェブで政治を動かす！

ジャーナリスト／メディア・アクティビスト

津田 大介 氏



1973年東京都生まれ。早稲田大学社会科学部卒業。大阪経済大学客員教授。早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース非常勤講師。一般社団法人インターネットユーザー協会(MAU)代表理事。主な著書に『ウェブで政治を動かす！』(朝日新書)、『動員の革命』(中公新書ラクレ)、『情報の呼吸法』(朝日出版社)、『Twitter社会論』(洋泉社新書y)、『未来型サバイバル音楽論』(中公新書ラクレ)ほか。2011年9月より週刊有料メールマガジン「メディアの現場」を配信中。

データジャーナリズム

誰でも情報を発信することができる時代、データの有用性とは・・・

「情報の教養学」とは——「情報」という言葉を聞くと「パソコン」を連想する学生が多いと思います。しかし、現在の世の中はそうではありません。今後の学生や社会人生活においてぜひ知っておきたい「情報」に関して、一流の講師が幅広い視点から「情報の教養学」講演会において紹介します。本年度の春学期は、情報を「データ」という観点に着目します。現在はTwitter、Facebook、ブログなどを通して、誰でも情報を発信することができます。発信されているデータは有用かもしれないし、残念ながら嘘かもしれません。そのようなデータの利用について、「データジャーナリズム」という立場をベースに紹介します。